

# 2019年度「教皇フランシスコ来日 巡礼ツアーに参加して」

短期間の来日日程で、教皇フランシスコは長崎、広島では核廃絶を、東京では「すべてのいのちを守るため」というテーマについて話されました。この二つは平和実現への一歩として大切な要素であることを改めて実感しました。東京ドームでお話された内容は、生産性や競争力を重視するあまり一人ひとりが社会で埋もれてしまうことの警鐘や、その中で弱い立場になってしまった人へのメッセージでした。グローバル化、世界の透明化が顕著にみられる現代の社会では、弱い立場の人が置いていかれ、その結果、孤立してしまったり心々にダメージを追ってしまうというケースが多いのが現状です。そのような人にとって他者のつながりが、共有が最も大切であると教皇様はおっしゃっていました。私は孤立してしまったり目に見えてわかる人と、そうでない人がいると思います。一見、誰かとつながりをもっているように見えても、実際は孤独感でいっぱいな人のことです。複雑な人間関係の中で、誰にも相談できず、自分自身を追いつめてしまっている人は少なくないと思います。今回、お話を聞いた私たちが意識して他者とのつながりを大切にすれば、少しずつでも孤独になっている人たちを減らしていくことができると思いました。

来年からは大学生活が始まり、様々な人との交流が増えていく中で、自分から積極的に関わりをもち、他者と共有する喜びを忘れずに常に心に留めていきたいです。また、SDGsなど、弱い人を助けるような取り組みにも参加するなどして行動に移すことも大切にしたいです。

三十八年ぶりのローマ教皇来日に際して開かれたミサに与ることができたことへの感謝と教皇様の説教に込められた思いをしっかりと心に留め、日常生活をより豊かに、周りも豊かにできるように努めていきたいと思っています。

(伊藤奏子さんは、現在、上智大学文学部新聞学科で学んでいます。)